

## 会 議 結 果 報 告

会 議 名	前橋市社会福祉審議会 令和6年度第1回地域福祉専門分科会
日 時	令和6年5月31日（金）午後3時15分～午後4時10分
場 所	市総合福祉会館 2階 第2集会室
出 席 者	<p>【委員】 上野委員、廣瀬委員、鳥島委員、石川委員、高橋委員、塩崎委員、山田委員、小野委員、黒澤委員（欠席者なし）</p> <p>【事務局】 福島福祉部長 社会福祉課 本間課長、細井副参事、太田副主幹</p>
傍 聴 人	なし
開催趣旨	専門分科会長の選出を行う。また、次期地域福祉計画の策定スケジュールについて確認する。
資 料	<p>資料1 地域福祉専門分科会の概要</p> <p>資料2 次期地域福祉計画 策定スケジュールについて 〈参考資料〉令和5年度第1回地域福祉専門分科会 資料3 「次期地域福祉計画の策定について」</p>
結 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●立候補、推薦等がないため、事務局の案に基づき、専門分科会長に塩崎委員が選任された。また、会長職務代理者に小野委員が指名された。</li> <li>●次期地域福祉計画の策定スケジュールについて事務局案のとおり承認された。</li> </ul>
審議会の 主な発言内容	<p>【部長あいさつ】 この分科会は、地域の生活課題や福祉ニーズに対応できているかどうか、様々な観点からご意見をいただける場ととらえている。昨今の生活課題は複合化・多様化しており、制度の狭間のケースをどう解決するか、などといった問題に対して、全国の市町村が試行錯誤している。日ごろ福祉に携わる皆さんの率直なご意見、お知恵をいただき、行政単独でなく、地域や事業者と手を取り合いながら、福祉向上につなげていければと考えている。</p> <p>【分科会の概要及び次期計画策定スケジュールについて】</p> <p><b>上野委員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WG と審議会の接点がどのようになるか。情報共有が早くからできてないと、審議にならない。3つの段階のつながりをうまくやらなければならない。</li> </ul> <p><b>廣瀬委員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延長した分、しっかり審議しなければならないということであり、重い責任を感じている。WG の意見を聞き、情報を整理しながら考えていく</li> </ul>

い。

#### 鳥島委員

- ・できることとできないことをはっきり分けて、メリハリをつけて効率も考えることが必要と思う。

#### 石川委員

- ・分科会への参加が初めてであるが、子ども子育て分野を中心とした観点から、委員として地域福祉の審議に貢献していきたい。

#### 高橋委員

- ・自分事としてとらえていかなければならない、と仕事や日常を通して感じているところ。

#### 山田委員

- ・例えば障害者も、一か所に集まっているわけではなく、いろいろな地域にそれぞれ暮らしているが、それぞれが情報を獲得できるようになってほしいと考えている。参加しやすい、引きこもらない、一人ぼっちにならない状況をつくっていきたい。

#### 黒澤委員

- ・地域福祉計画は、かなり広い分野での取り組みをしなければならない。市民の意見を聞くとすると、膨大な意見等が出てくると思われる。鳥島委員が言うように、できないものは捨てるというのも大事かと思われる。それをふるいにかけて、重点は何か、というのは、それぞれ分科会で精査していただくと思う。事務局にも協力をいただいて、良い計画にしていければと思う。

#### 会長

- ・この計画は、どの市民もよりよい生活を送れるようにするためにあるので、各分野の声が必要だということで、この分科会に集まったのだということが改めて分かった。

#### 小野委員

- ・資料にある住民参加であるとか、仕組みや体制づくりなど、地域福祉に携わる市社協が進めていることそのものだと感じた。住民だけでなく、企業、ボランティア、NPOなどいろいろな方々の参加のもとで地域福祉を進めなければいけないというのを実感しているところ。
- ・期間延長でしっかりしたものを作ろうという話をいただいたので、ありがたいと感じている。庁内連携の話もあるが、色々な分野の課題があり、手を添えていけるといい。

